

文部科学省・地球観測技術等調査研究委託事業

「高品質蛋白質結晶化技術の宇宙技術科学研究拠点形成」

平成28年度、関東地区若手研究者講習会

平成28年8月26日、神奈川科学アカデミー

若手研究会の開催について

本プログラムは平成26年度から3年間の委託事業として始まり、今年が最終年である。その目的は、日本が独自に開発し世界で高く評価されている国際宇宙ステーションの微小重力環境を用いた「高品質蛋白質結晶作成技術」の開発を継続し、若手研究者に継承して、宇宙科学の当該分野で世界を牽引し続けることである。

そのため、宇宙科学実験技術のプラットフォーム化を通じて、若手研究者の育成環境を整備することに注力してきた。既に4回の技術プラットフォーム形成研究会を開催し、積極的に若手研究者の育成環境を整備してきた。

本事業の技術プラットフォーム形成研究会は以下のような特徴を持つ。

1. 国内の若手研究者に、国内外の著名な高品質蛋白質結晶化の専門家に直接、学ぶ機会を与え、世界的な蛋白質結晶の教育を体験させる。
2. 高品質蛋白質結晶化の専門家による、宇宙実験を成功させるための講習会を開催する。講義と講習を一体化し、専門家の指導のもと、宇宙実験の失敗点の整理を行い、多くの失敗と成功を疑似体験できる学習機会を与える。
3. 講習会で得た知識やノウハウを研究室に戻って再現し、後日、その結果の発表を行う。こうした実験と演習を繰り返すプロセスにより、若手研究者を育成する。
4. 講習会と研究会において、構成メンバーの専門家がこれまでの経験を体系的に整理して、若手研究者に伝承する。

本日の研究会は、関東地区の若手研究者の育成を目指して、神奈川科学アカデミーの朴三用教授に企画をお願いした。参加される学生諸君にとって、永く記憶に残る研究会となることを期待する。

研究代表 筑波大学、WPI-睡眠研究機構
教授 裏出良博